

授業科目名	人権保育	担当教員名	秋元 洋祐
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位
施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目-教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応含む。) 保育の本質・目的の理解に関する科目(別表2)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	<p>本講義の目標は、保育者としての人権意識を高めることにある。人権問題は、人々の様々な差別意識から生まれる。この男女差別、同和問題や障害児の入園問題について、実際に争われた裁判例を題材とし、人権保障の重要性を学んでいく。また、本校のDPで示されているように、授業の際に質疑応答を行い、専門的知識を活用して人権規制の問題点を説明できたり、自分の考えを発表できたりすることも目標とする。</p> <p>(1)教育に関する社会的事項：社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解する。</p> <p>①学校を巡る近年の様々な状況の変化を理解している。 ②子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題を理解している。 ③近年の教育政策の動向を理解している。 ④諸外国の教育事情や教育改革の動向を理解している。</p> <p>(2)学校と地域との連携：学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。</p> <p>①地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解している。 ②地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。</p> <p>(3)学校安全への対応：学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。</p> <p>①学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解している。 ②生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組を理解している。</p>		
授業の概要	<p>保育者には、人権問題に関する正確な理解と対応策が求められる。現代の社会では、被差別部落出身による結婚差別や出生による子供の差別が未だに残されている。保育の現場でも、障害児の受け入れ拒否が問題になる。障害児を受け入れる際に、幼稚園教諭や保育士は、児童の成長発達と安全の確保に配慮する必要がある。本講義では、これらの人権問題を取り上げ、保育現場での対応策を考えられるように、自らの人権意識の深化や充実を目指す。</p>		
テキスト	使用しない(担当教員作成の授業用プリント)		
参考書・参考資料等	毎回授業用プリントを配布する。		
成績評価の方法	定期試験(80%)・授業での質疑応答(20%)の総合評価		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	外国人の人権：講義と成績評価の説明、外国人の登録申請の際に指紋捺捺制度が問題となった事案を題材に、外国人の人権問題	(1)-④	
第2回	子供の人権：バイクの免許取得が校則で禁止されていた事案を題材に、子供の人権保障	(1)-①,(1)-②,(1)-③	
第3回	同和教育：被差別部落出身によって婚約が破棄された事案を題材に、同和問題	(2)-①,(2)-②	
第4回	男女平等：会社が男女で定年に差異を設けていた事案を題材に、男女差別の問題	(2)-①,(2)-②	
第5回	平等権：嫡出子と非嫡出子の法定相続の差異が問題になった事案を題材に、法の下での平等	(1)-②,(1)-③	
第6回	差別表現：朝鮮学校に対してヘイトスピーチがなされた事案を題材に、表現の自由	(3)-①,(3)-②	
第7回	人権保育：障害を理由に幼稚園の就園申請が不許可とされた事案を題材に、障害児の成長発達権	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (3)-①,(3)-②	
第8回	人権保育：障害を理由に普通保育園の入園申込みが不承諾とされた事案を題材に、教育を受ける権利	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (3)-①,(3)-②	
定期試験	筆記試験		